



## 階比数列

定義. 数列  $\{a_n\}$  の階比数列  $\{b_n\}$  とは,

$$b_n = \frac{a_{n+1}}{a_n}$$

で定義される数列のことである. ただし, 任意の  $n \geq 1$  に対して,  $a_n > 0$  であるとする.

次に, 積の記号を定義する.

定義. 数列  $\{a_n\}$  に対して,

$$\prod_{k=1}^n = a_1 \cdot a_2 \cdots a_n$$

と定義する.

初項  $a_1$  の値と, 階比数列  $\{b_n\}$  の一般項から, 数列  $\{a_n\}$  の一般項を求めることができる.

$n \geq 2$  の時, 次が成り立つ.

$$a_n = a_1 \prod_{k=1}^{n-1} b_k$$

証明. 階比数列の定義から,  $b_k = \frac{a_{k+1}}{a_k}$  なので,

$$\begin{aligned} \prod_{k=1}^{n-1} b_k &= b_1 \cdot b_2 \cdot b_3 \cdots b_{n-1} \\ &= \frac{a_2}{a_1} \cdot \frac{a_3}{a_2} \cdot \frac{a_4}{a_3} \cdots \frac{a_n}{a_{n-1}} \\ &= \frac{\cancel{a_2} \cdot \cancel{a_3} \cdot \cancel{a_4} \cdots a_n}{a_1 \cdot \cancel{a_2} \cdot \cancel{a_3} \cdots \cancel{a_{n-1}}} = \frac{a_n}{a_1} \end{aligned}$$

が成り立つ. 両辺に  $a_1$  を掛けることにより, 求める等式を得る. □

例. 初項が1であり, 階比数列の一般項が  $1 + \frac{2}{n}$  である数列の一般項を求める.

求める数列を  $\{a_n\}$  とし, その階比数列を  $\{b_n\}$  とする.

$$b_n = 1 + \frac{2}{n} = \frac{n+2}{n}$$

なので,

$$\prod_{k=1}^{n-1} b_k = \prod_{k=1}^{n-1} \frac{k+2}{k} = \frac{\cancel{3} \cdot \cancel{4} \cdot \cancel{5} \cdot \cancel{6} \cdots \cancel{n-1} \cdot n \cdot \cancel{n-1}}{1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \cdots \cancel{n-3} \cdot \cancel{n-2} \cdot \cancel{n-1}} = \frac{1}{2} n(n+1)$$

である.  $a_1 = 1$  なので,  $n \geq 2$  に対して, 数列  $\{a_n\}$  の一般項は,

$$a_n = a_1 \prod_{k=1}^{n-1} b_k = \frac{1}{2} n(n+1) \tag{1}$$

と計算できる.

$n = 1$  の時,  $a_1 = \frac{1}{2} \cdot 1 \cdot 2 = 1$  であり, これは,  $n = 1$  の時にも成り立つ. よって, 任意の自然数  $n$  に対して, (1) が成り立つ.